



せんしょう苑  
望洋荘 便り

第135号  
平成27年  
2月発行

望洋荘での5人目の「百歳万歳」

男性で初の鈴木一男様を祝う

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 混

鈴木一男さんは四代続いた豆腐屋の主として身を粉にして働いてきた方です。職人氣質を有し、気骨のある頑固さを持った方とお見受けしました。

奥様の鈴木アサイ様は、ご主人よりも早く平成二十二年三月四日に望洋荘へ。ご主人の一男様は一年遅れて、平成二十三年二月十四日に入荘されました。入居から一ヶ月も経たぬうちにあの東日本大震災に遭遇されました。職員と共に、御夫婦共々、水不足、食糧不足、それに停電にも見舞われた中で、大変な十日間を頑張っていたいただきました。しかし、奥様はこの年の十月二十一日に九十五歳で旅立たれました。存命中であれば九十九才（白寿）で共にお祝いできたのにと、心から残念に思っております。ご夫妻で約八カ月この望洋荘で一緒にお暮しなさいました。

残された一男さまにおかれましては、入所から四年の歳月を経ましたが、極めてお元気で、この二月三日に百歳の誕生日を迎えられました。鈴木一男様、百歳万歳、誠におめでとうございます。今までに、望洋荘で百歳をお迎えた方々は、山崎イクヨ様（平成十七年五月一日）・本導マサヨ様（平

成一九年十一月）・青木アサヨ様（平成二十三年三月二十五日）・箱崎タニ様（平成二十六年九月十五日）の四名のお方です。五人目の鈴木様が今回男性としては初めての百歳の賀寿を迎えられました。

誕生日の二月三日は節分です。節分は字の通り、季節の分かれの目の意味です。もともとは立春・立夏・立秋・立冬それぞれの前日を節分としていました。その中でも、特に立春の前日を指すようになった由来は、この節分を境に、暦の上では冬から春になるからです。旧暦では新年は春から始まるため、この節分の日が、現在の大晦日と同じように考えられていたようです。

節分の際、「鬼は外、福は内」と豆をまくのは、一年の禍を祓うための厄落としの意味があります。年齢の数だけ、又は年齢より一つ多く豆を食べるのも、疾病や禍を祓う厄落としの意味があると言われています。鈴木様には多くの豆を毎年節分のたびに食べるのは大変でしょうから豆は勿論のこと、食べられる大きさの恵方巻きを準備したようです。最近「恵方巻き」を食べる習慣が広がってきました。これは、節分の日はその年の恵方に向かって食べる太巻き寿司で、「福を巻き込む」という意味、切らずに一本丸ごと食べることで「縁を切らない」という意味が込められているそうです。

世界最高高齢男性に福島県南相馬出身の百井 盛様が百十二歳でギネスに認可されました。元気な私共の鈴木様にも、「縁を切らない」恵方巻きをこれから長く毎年節分の誕生日には、食べさせて上げられるように頑張ります。鈴木様が元気でいることは、職員の励みにもなりますし、入居者様の、特に男性諸氏にとっては素晴らしい目標が出来たのですから。

## 介護老人福祉施設 望洋荘

### 節分・豆まき

二月一日(日)各ユニットにて節分の豆まきを行いました。

鬼の格好をした職員がユニットに姿を現すと、初めはぎよつとした表情が見られましたが、職員の仮装だと気付くと、「あらくあんたたち、わざわざそんな格好して」と苦笑を浮かべつつも喜ばれて、「鬼は外、福は内」と元気よく豆を投げられておりました。

豆まきが終わった後は、入居者様・職員一同、一緒に豆を剥いて食べました。「年の数だけ豆を食べたら、わたしたちお腹壊しちゃうわあ」と冗談交じりに言われながらも、「あんたたちこの豆食べな」と職員に豆を勧められるお姿も見られました。

ユニットからは終始、笑い声が聞かれる、賑やかな節分となりました。



## 鈴木一男様 百歳賀寿式

二月三日(火)に鈴木一男様の百歳賀寿式を執り行いました。

ご家族様の意向や、面会制限もあった事から、マスコミ等は誘致せず一階会議室にて実施する事となりましたが、終始穏やかな賀寿式を執り行うことができましたと思います。

一男様は、市からの賀状と記念品をしっかりと手に掴んで受け取られておりました。施設からは花束と、腕時計をプレゼントさせて頂きました。

賀寿式を終えた後は薄磯ユニットに戻り、ささやかな誕生会を開きました。ケーキに立てられたロウソクを、一息にとはいきませんでした、少しずつ自力にて吹き消されておりました。その後、誕生日の歌を歌いながら他入居者様と一緒にケーキを食べてお過ごし頂きました。

百歳を迎えてなお壮健なる一男様のお姿に職員一同も、大変元気づけられました。一男様、本当におめでとう御座います。



### 節分豆まき

二月三日(火)各ユニットにて、節分の豆まきを行いました。

今年は年女一名の入居者様と年女二名の職員が、豆の入った升を片手に、袴を着てユニットを回りました。

鬼の仮装をした職員が姿を現すと、「鬼はそと、福はうち」と元気よく声を上げながら、積極的に豆を撒いてくださり、賑やかな節分となりました。

また、ベッドに横になっておられる他入居者様のところへ行き、「あなたも今年一年元気にね」と布団の上にそっと豆を置かれる姿もみられ、行事に参加できなかった方の無病息災をも祈っておられるのだなと感動致しました。

今年も入居者の皆様に季節感を感じて頂ける行事になったと思います。



## 畑の肉・大豆

「この辺りでは節分の時には「撒いたときに床が汚れず、後で拾い集めるのも楽だから」という理由から、落花生が撒かれています。本来節分の時に撒かれる豆は大豆でした。

大豆は栄養価が高く、「畑の肉」とも呼ばれています。そのため、わが国では、昔から大豆はいろいろな形に加工されて食べられてきました。

たとえば、蒸した大豆を酵母と麹菌で発酵させると醤油や味噌になり、納豆菌で発酵させると納豆になります。また、熟した大豆をすり潰し、水を入れて加熱したものを搾ると豆乳になり、これににがりを加えて固めると豆腐ができます。煎った大豆を粉にすると、きな粉が作られます。

他にも、大豆を暗い所で発芽させるとモヤシになり、熟する前の大豆を茹でると、枝豆になります。このように、大豆はさまざまに形を変えて、古くから日本人の食卓にたびたび上つてきました。

大豆タンパク質や小麦グルテンなどから作る「大豆ミート」と呼ばれる肉の代用品も存在します。

柔らかい肉のような食感で、カロリーも控えめなので、健康食品として近年では注目されています。



### 【三月の行事予定】

#### 望洋荘

三月三日（火）

「ひな祭り」各ユニット

### 【三月のお誕生日】

#### 望洋荘

三月三日（火）勿来ユニット

新川 和男 様（八十歳）誕生会

三月七日（土）永崎ユニット

阿部 たか 様（九九歳）誕生会

三月九日（月）薄磯ユニット

日野 武雄 様（七一歳）誕生会

三月九日（月）豊間ユニット

吹谷 千代 様（八九歳）誕生会

三月十七日（火）豊間ユニット

星 敏子 様（八六歳）誕生会

三月十八日（水）四倉ユニット

岩佐 八重子 様（八十歳）誕生会

三月二十一日（土）豊間ユニット

須藤 ムメ 様（九八歳）誕生会

三月二十四日（火）薄磯ユニット

高木 ウン 様（九三歳）誕生会

三月二十八日（土）四倉ユニット

佐藤 勝雄 様（九二歳）誕生会

三月二十九日（日）永崎ユニット

財津 シツ 様（九九歳）誕生会

三月三十日（月）薄磯ユニット

政井 一郎 様（八五歳）誕生会

### 【三月の行事予定】

#### せんしゅう苑

三月三日（火）

「ひな祭り」各ユニット

### 【三月のお誕生日】

#### せんしゅう苑

三月二十日（金）みまや南ユニット

関野 ふく 様（九三歳）誕生会

三月二十四日（火）みまや東ユニット

山崎 ヨシ子 様（九九歳）誕生会

三月二十八日（土）みまや南ユニット

吉田 ハツ子 様（七八歳）誕生会



#### 編集後記

『せんしゅう苑・望洋荘』便り  
平成二十七年二月二十八日発行  
発行所 いわき市平豊間字合磯三十九番地  
社会福祉法人 りんさく福祉会  
地域密着型介護老人福祉施設 せんしゅう苑

介護老人福祉施設

電話 (0246)38-6333-1

望洋荘

電話 (0246)55-7373